

北海道国際理解教育研究協議会 会報

第10号
会長 磯貝 登弘
事務局 大泉 修
板垣
発行 1989年
6月10日

就任にあたって

会長 磯貝 登

(岩見沢市立中央小学校長)

この度の総会におきまして、平成元年度の会員の決定をみました。はからずも、会長の大役を仰せつかり、職責の重さを痛感いたしております。会員の皆様のご協力を得ながら全力投球いたしたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

過去二年間におきましては、事務局長という立場から、千葉前会長や他の役員、会員の皆様とともに、次のことについて重点的に取り組んできました。

- 一、会の目的や会則を確認し、会則の改正を行い活力ある会の運営に当たる
- 二、会員の加入を積極的に行い、教育局単位の支部結成を促進し、組織の強化を図る。
- 三、研修面を重視し、本道の課題を設定して解決の方策を探る。
- 四、個人が所有する海外日本人学校関係などの資料や国際理解教育関係の授業記録等を一括収集し、その活用を図り、国際理解教育の促進と普及を推進する。

一と二については、会則を改正し名称を『北海道海外子女教育教師の会』から『北海道国際理解教育研究協議会』とし、会員を広く一般教育関係者・民間協力者にも求めることにしました。このように会員資格の門戸を広くしたことは本会が一つの殻から脱皮し新しい一步を踏み出したと信じています。三つめについては、第八回北海道国際理解教育研究大会旭川大会、第九回の渡島大会の大会主題において、その方向性を明確にし、公開授業を取り入れるなどして、研究の焦点化と実践の拡充に大きな成果を残しました。

四つめについては、道立教育研究所の理解と協力を得て、「国際理解教育資料コーナー」を設置し、内容や傾向などを分析して、領域別に整理し、活用を図ってきています。

これらのことについては、平成元年度も引き続き取り組み充実させていきますが、合わせて記念すべき「第十回北海道国際理解教育研究大会」「十周年記念研究誌の発行」も積極的に推進していきたいと考えています。

本道においても、児童生徒ばかりではなく多くの人々が国際的な交流や接触を深めてきています。その中で多くの問題も生じてきていると思います。活動や交流が活発になればなるほど課題が多くなることは予想されます。これからは、これらのことを刺激剤として国際化社会での考え方、生き方を身につけていく必要があります。

本会においても、常に国際理解教育の原点に立ちかえり、日常の諸活動を活発に展開していかなければならないと考えています。今まで以上に会員の皆様のご協力をお願いします。

会長に就任するに当たり、本年度の活動の重点と所感の一端を述べさせていただきます。

ご支援、ご協力に心から感謝して

前会長 千葉 福男

(前江別市立江別小学校長)

昭和63年度末の総会に於いて、新年度の事業計画や予算・役員選出等が審議、決定され、平成元年のスタートが切られることになりました。旧年度に於ける皆様方のご協力に心から感謝申し上げます。加えて新しい年度が本会の発展充実につながるものになりますことを、確信しております。

さて、私事になりますが、この度の役員改選によって、会長を辞することになりました。昭和57年に帰国しましてから7年間、理事や副会長・会長の役を仰せつかり、どうやら万貫成就の退職の日まで、非力を省みずに、務めを全うさせて戴く事ができまして、誠に光栄であったと思っております。役員の皆様方や会員の皆様には只々感謝あるのみです。心暖まるご支援を賜りましたこ

とに 衷心より 厚く御礼を申し上げる次第でございます。本当にありがとうございました。

今後は一會員の立場に立って、本会の活動に協力して参りたいと思っております。また、国際理解を進める社会教育面や関係諸団体の活動にも積極的に参加していきたいと考えておりますので、今後共御厚誼下さいますようお願い申し上げます。本会の益々のご発展と會員皆様のご健勝をひたすらに祈念申し上げます。退任のご挨拶といたします。

☎066 千歳市白樺3丁目1の6

TEL 0123-28-2922

国際理解教育への主導的役割を

事務局長 大泉 弘

(室蘭市立向陽中学校長)

この度事務局を担当させていただくことになりましたが、その重責に身の引き締まる思いです。

世はまさに国際化時代、それに伴い国際理解教育の重要さがよりクローズアップされ、その具体的な取り組みが一層求められています。そうした時代の教育の動向の中で、私共の会がどんな役割を果たすべきかは、教育界の内外で注視しているところでもあります。そこで、私達は派遣教員の同窓会的な感覚から脱皮し、私達一人ひとりが派遣当時の心意気をもう一度思い起こして、21世紀、国際社会に生きる児童生徒の育成に主導的役割を果たす必要があります。そのために、私は各先生方の高まいた考え方や貴重な体験、さらには秀れた実践を互いに交流しあえることで、いささかでもお世話できればと考えています。

最後に「私達だけができること」「私達が中心になって広く活動すること」の両面からの取り組みに対する、より建設的なご意見、ご提案をお寄せください。お待ちしております。今年一年よろしく願いいたします。

理事会・総会の報告

1989年3月9日(木) 14時～

札幌市 ホテルアカシア

1. 経過報告

- 1988年6月14日 道教委主催「帰国報告会」帰国者17名
助言者派遣(千葉福男氏・中山昭三氏・大津外志男氏)
- 6月15日 事務局だより5号発行
- 7月9日 石狩支部結成
- 7月25日 全道大会打ち合わせ(本部事務局と渡島の実行委員会)
- 9月17日 事務局だより6号発行、名簿三年ぶりに大改定
- 10月28日 第3回上川管内国際理解教育研究大会(旭川)
- 11月4、5日 第9回北海道国際理解教育研究大会渡島大会
第5回渡島国際理解教育研究大会
- 12月10日 会報8号発行(全道大会報告)
- 1989年2月8日 檜山国際理解・国際交流研究会(瀬棚町)
- 2月9日 第一回網走管内国際理解教育研究大会(紋別市)
- 2月15日 会報9号、事務局だより7号発行
- 2月17日 3月帰国者に会報等々を送付
- 2月28日 檜山国際理解教育研究会(江差町)
- 3月2日 事務局会議(岩見沢市)
- 3月9日 道教委主催「平成元年度在外教育施設派遣教員事前研修会」助言者派遣(福島清治氏・菖蒲田正満氏
・桜田和雄氏)
- 同激励会
昭和63年度理事会・総会
- 3月25日 事務局会議
- 5月15日 事務局会議、道教委へ挨拶まわり
- 6月10日 会報10号発行(渡島大会紀要送付)

2. 平成元年度 北海道国際理解教育研究協議会役員

顧問	気境 公男	会長	磯貝 登	副会長	福島 清治
	本田 哲也			副会長	菅原 伝寿
	木皿 弘勝			副会長	鎌田 誠二
	千葉 福男			副会長	村岸 勝朗
理事	三上 功 (札幌)		五十嵐一之 (道北)		
	石塚 喜法 (道央)		中沢 儀則 (道南)		
	田畑 雅皓 (道東)				
監事	水口 忠		古川 春朗		
事務局長	大泉 弘	事務次長	板垣 修	会計	大津 外志男
事業部長	遠藤 優	副部長	後藤 宏		
研修部長	藤原 勲夫	副部長	広瀬 保志		
広報部長	桜田 和雄	副部長	高野 英弥		

3. 事業計画

(1) 「北海道国際理解教育資料コーナー」の整備の継続

1. 目的：国際理解教育の研究及び普及と資料の保存
2. 場所：北海道立教育研究所 資料室
3. 方法：資料室へ送付

069 江別市文京台42

北海道立教育研究所資料室 御中

☎011-386-4511

4. 期間：第一期として、七月を目途にお願いいたします。
5. 内容：研究記要、研究収録、学校要覧、大会記録、授業記録
赴任国の資料等々

(2) 「第10回北海道国際理解教育研究大会」

「第四回札幌市国際理解教育研究大会」

1. 大会主題 『世界に通じる、個性豊かな児童・生徒の育成』
2. 目的 学校教育の中で国際人として必要な資質をどのように育てたらよいかについて 究明を図る。
3. 主催 北海道国際理解教育研究協議会
札幌国際理解教育研究会
4. 共催 北海道教育委員会・札幌市教育委員会
札幌市教育文化財団
5. 後援 NHK・北海道新聞社・朝日新聞社・北海道通信社
各校長会
6. 期日 1989年11月10日(金) 11日(日)
7. 会場 札幌市教育文化会館・ホテルアカシャ
八軒西小学校・稲積中学校
8. 内容 授業公開・記念講演・分科会・レセプション
9. 予算 本部より20万円
10. その他 石狩支部の協力

(3) 「10周年記念研究誌」の発行

1. 目的：会の結成12年、全道大会10回目を記念して、これまでの足跡をまとめる。
国際理解教育実践の手引き書の機能も持たせる。
2. 内容：国際理解教育の手引き
12年間の歩み
大会の足跡、歴代役員一覧、名簿
3. 担当：事務局・研修部・特別委員会
4. 発行：1989. 11. 10

(4) 会員名簿の修正と追補

*異動があった場合は、すみやかに事務局へ連絡

*会員としての資格確認……会費の納入が3年以上ない場合は、会報の送付停止、支部名簿からの削除

*退会する会員は、事務局へ連絡

(5) 会報の発行

年4回発行の予定

NO10号	6月10日	事業計画	会計報告
11	9月10日	大会案内	
12	12月10日	大会報告	
	2月10日	支部交流	海外からの通信

(6) 派遣教員激励会

1. 期日：1990年3月
2. 担当：事業部と事務局

(7) 帰国報告会と事前研修会への講師派遣

1. 担当：会長を中心に事務局で人選し道教委へ推薦
2. 期日

・帰国報告会

*1989年8～9月の予定（北海道教育委員会主催）

昨年は1988年6月に開催されました。

・事前研修会と激励会

*1990年3月の予定

(8) 会計報告 P9～10参照

*事務局からの連絡

1. 会費の納入について

- ・62年度以降は、年額3000円。入会金は、7000円です。
- ・61年度以前は、年額5000円です。

*未納の会員はよろしく願いたします。

*郵送料や大会補助金等々の出費は、会員の会費でまかなっており、連絡のない会員や未納の会員の対応に事務局として苦慮しております。

ほとんどの会員は、三年間の派遣を経験されており、仲間として、未納を理由に名簿から削除しかねております。退会される会員は、葉書で結構ですからご連絡ください。

2. 連絡場所について

事務連絡は、次長のところをお願いいたします。

061-12

札幌郡広島町島松284

西部小学校 板垣 修

学校TEL011-376-2104

会長 磯貝 登 岩見沢市中央小学校 校長
TEL0126-22-3750 (学校)

事務局長 大泉 弘 室蘭市向陽中学校 校長
TEL0143-44-2951 (学校)

広報に関しては広報部の桜田まで直接、ご連絡いただいても結構です。

069

江別市宮町2

大麻小学校 桜田 和雄

TEL011-386-5301 (学校)

短信

1. 派遣中の会員から活躍の様子が寄せられてきています。

*ラゴス日本人学校 大島安長校長先生

*ヴィトリア(ブラジル)日本人学校 村瀬正貢先生

2. 全国大会宮城大会について

期日：8月4日～5日

大会事務局：仙台市立金剛沢小学校 TEL022-245-6553

半沢 昌文 ☎982 仙台市金剛沢1-1

会員個人で申しこんでください。

3. 平成元年度派遣教員一覧

P11、12参照

昭和63年度 会計決算書

(自昭和63年3月7日～至平成元2月28日)

1 収入の部

項目	予算額	決算額	増減	摘要
繰越金	439636	439636	0	
会費	378000	440000	62000	
入会金	140000	91000	- 49000	13名の入会
雑収入	2364	0	- 2364	贈答品の取り返し
合計	960000	970636	10636	

2 支出の部

項目	予算額	決算額	増減	摘要
事務費	30000	7170	- 22830	職員録
会報費	50000	45190	- 4810	用紙、送料
事業費	100000	30590	- 69410	会誌編集、刷
会議費	150000	104385	- 45615	理事会総会
通信費	100000	24172	- 75828	解任状、領大宛封筒
助成費	200000	200000	0	渡島大会
雑費	50000	41490	- 8510	打合せ、連絡
雑費	20000	22470	2470	出張旅費、私用印刷
予備費	260000	0	- 260000	
合計	960000	475467	- 484533	

3 差し引き残高

(収入決算額) (支出決算額) (差引残高)
 970636 - 475467 = 495169

(決算報告について)

- 1 61年度以前の会費の納入が多くありました。各支部のはたらきかけの結果と思われます。
- 2 加入者負担の払い込みによる納入方法が定着して来ました。
- 3 事業費から住所録の制作、発送を行いました。
- 4 各ブロックへの会議等への支出は現状では難しく課題とします。
- 5 渡島大会研究収録の会員への配布事業については次年度に先送りとします。
- 6 決算は2月末までとし3月以降の会計執行を暫定とし元年度予算に繰り込みます。

平成元年度 会計予算案

(自平成元年4月1日～至2年3月31日)

1 収入の部

項目	63年度決算	元年度予算	増減	備考
繰越金	439636	495169	55533	
会費	440000	438000	- 2000	146名で算出
人会金	91000	119000	28000	62年度以降者17名
雑収入	0	0	0	払込口座は相無し
合計	970636	1052169	81533	

2 支出の部

項目	63年度決算	元年度予算	備考
事務費	7170	30000	封筒
会報費	45190	50000	
事業費	30590	280000	遊楽、1/47炊爨、大会等
会議費	104335	150000	理事会・総会
通信費	24172	100000	
助成費	200000	200000	研究大会
電話費	41490	50000	
雑費	22470	20000	
予備費	0	192169	
合計	475467	1052169	

(予算案について)

- 1 会費は帰国者17名に今年度実績を加算し146名で算出しました。
- 2 帰国者全員の加入を今後も強力にはたらきかける必要があります。
- 3 今後、会の事業が具体化していくに従って、また会費の納入状況によって各項目の支出の変動が予想されます。予備費によって調整を図ります。
*平成元年度の会費納入は同封しました振替を使ってお送りください。

滞納されている会員は、速ってお送りください。

*納入期限を7月15日といたしますので、ご協力下さい。

平成元年度在外教育施設派遣教員一覧

管内	所 属	職名	氏 名	派 遣 先	
				日 本 人 学 校	職名
石狩	札幌市立北の沢小	教諭	佐野 和人	イギリス ロンドン	教諭
渡島	松前町立清部小	教頭	藤本 伸治	サウジアラビア ジッダ	校長
	函館市立桐花中	教諭	磯部 伸一	インド ボンベイ	教諭
	函館市立光成中	教諭	本間 秀昭	アラブ首長国連邦 アブダビ	教諭
後志	小樽市立稲穂小	教諭	鈴木 久司	カナダ ヴァンクーバー補	教頭
	余市町立栄小	教諭	川端 英俊	ユーゴスラビア ベオグラード	教諭
上川	旭川市立旭川第二中	教諭	矢口 元晴	バングラディッシュ ダッカ	教諭
留萌	留萌市立緑丘小	教諭	運上 和信	香港 香港	教諭
網走	滝上町立滝上中	校長	可児 満夫	エジプト カイロ	校長
	北見市立高栄小	教諭	光成 英二	ナイジェリア ラゴス	教諭
胆振	苫小牧市立泉野小	教諭	柏 征一	アメリカ ニュー・ヨーク補	教頭
十勝	帯広市立大空中	教諭	森戸 春樹	ルーマニア ブカレスト	教諭
	浦幌町立上浦幌中央小	教諭	種川 健	インド カルカタ	教諭
釧路	釧路市立日進小	教諭	村瀬 正貢	ブラジル ヴィトリア	教諭
	音別町立音別小	教諭	川口 主紀	マレーシア コタ・キナバル	教諭
	釧路町立別保中	教諭	榊 勉	エクアドル キート	教諭
本庁	スポーツ課指導班	主査	白井 潔	スペイン バルセロナ	校長

平成元年度在外教育施設派遣教員派遣国等一覧

16ヶ国 17名 (校長3・教頭2・教諭12)

地域	国数	派遣人数	国名等	平成元年度総数	
				国数	派遣数
欧州	4	4	イギリス(ロンドン) スペイン(バルセロナ) ユーゴスラビア(ベオグラード) ルーマニア(ブカレスト)	13	18
アジア	4	5	インド(ボンベイ)(カルカタ) バングラディッシュ(ダッカ) 香港(香港) マレーシア(コタ・キナバル)	9	14
北米	2	2	アメリカ(ニュー・ヨーク補) カナダ(ヴァンクーバー補)	2	5
中近東	2	2	サウジアラビア(ジッダ) アラブ首長国連邦(アブダビ)	4	4
アフリカ	2	2	エジプト(カイロ) ナイジェリア(ラゴス)	3	4
中南米	2	2	ブラジル(ヴィトリア) エクアドル(キート)	6	7
大洋州	—	—		1	1
合計	16 ^国	17 ^人		38 ^国	53 ^人